

2023年6月1日から2024.5.31までの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2024.5.1 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	2,089	200	237
備 南	2,500	760	80	58
美 作	800	812	50	33
玉 野	700	422	20	14
県 計	10,000	4,124	350	343

「治安維持法体制の再現を許さぬ」闘いを
憲法を活かす平和と人権の政治実現を！



岡山県版

No. 337

2024年5月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

岡山県本部

〒710-0131

倉敷市天城台

4・7-12 福井方

振替 01300-4-99361

mail : family-fukui@
khf.biglobe.ne.jp

国会請願は五月二十五日、第四一回全国大会は六月十九日。あと一ヶ月あまりです。

四月二十四日開かれた中央常任理

事会は「戦争と暗黒の治安維持法体制再現への暴走が米国と財界言いなりのもとで突き進んでいる」今、国賠同盟の存在意義を語り、国会請願行動、全国大会の成功、そして来年、治安維持法一〇〇年の節目に向け、二万人の同盟建設と支部建設の前進を呼びかけました。

五月一日現在、県本部は会員拡大目標にあと、八名となり、県本部役員、支部長がその気になれば達成できるところまで来ています。

国賠署名は個人署名四〇六六

「国会請願行動、第41回全国大会」に向け
会員みんなで「署名」拡大に取り組もう！



筆、団体署名五三筆の到達で昨年より九〇〇筆少ない到達です。その中で美作支部は昨年に続き、

昨年に続き、国賠署名の支部目標達成！

美作支部 中西 孝

(県本部 河井伸士)

国賠署名は八〇〇筆の目標に対し、四月一日に六五五筆に到達。目標達成が視野に入り、五月一日までに何としても目標達成を、と頑張りました。友誼団体、会員の署名集約を進め、四月三〇日には八一二筆となりました。

支部役員会は「今年もやったぞ」と盛り上がりました。引き続き、五月八日の県本部会議まで一筆一筆積み上げ、八五〇筆まで到達したいと決意しています。

会員のみなさん、友誼団体のみなさん 感謝！感謝！です。

八〇〇筆の支部目標を達成しました。

岡山支部は会員に署名活動への参加を呼びかけ、四月は二名の会員から一五〇筆を超える署名が寄せられました。五月一日のメーデー会場でも雨の中を五名の支部員で六七筆の署名を集めました。倉敷のKさんから月末に一四五筆の署名が届きました。新しい会員が署名行動、会員拡大に踏み出せばそれだけ、新しい運動の広がりが生れます。

「倉敷民商弾圧事件勝利めざす 全国連絡会」 第8回総会

備南支部 小山和正

四月二十九日、各社新聞に「三補選で野党完勝、裏金政治に審判」の見出しが躍った。

二七日に「倉敷民商弾圧事件全国連絡会」総会に参加した。「国会議員が脱税してもお咎めなし。裏金は脱税。なぜ国税は動かない。なぜ警察は動かない。民商で働く『普通のおばちゃん』を『脱税補助』という容疑で四二八日間も刑務所に拘留する。『補助』とは何か。怒り心頭で訴える全商連の太田会長。

「総会」には県内外から九〇名を超える参加。全国一六二ヶ所から「オンライン」を視聴。全国四一都道府県に「支援組織」がつくられ、署名は三二万三千筆を超えた。

総会で私が共感、感動したのは九名の弁護団の発言。豊かな経験



と個性的な団結した弁護団の確信をもった熱気あふれる報告に大変な勇気をもらった。そして「法廷外」での大衆的な闘い。一〇年を超える救援会をはじめとした「支援者」の闘いに拍手を送りたい。信頼と勝利への展望が大きく開けてくるのを実感した。

検察は「有罪立証」に失敗している。こんどは弁護側の証人・証人の採用を勝ちとり、「必ず無罪を」の思いでいっぱいになる。

印象にのこるのは愛知県の支援組織の発言。「棚屋さんをできるだけ愛知に呼び、一緒にオルグに行き、棚屋さんに自らの言葉で喋ってもらう。支援者は喋べらない」
棚屋さん 健康に気をつけて！

大逆事件 一一三年目の墓前祭―森近運平の碑前で

四月二日、「森近運平歌碑前」で行われた森近運平の墓前祭。

「大逆事件」で刑死した二人の一人、森近運平。

実妹の栄子さんと過酷な秋田刑務所から生還した唯一の生存者、高知の坂本清馬さんが「再審請求」の訴えを起こしたのが六三年前の一九六一年。一九六五年に「門前払い」となり、六七年に特別抗告も棄却。

現在の「刑事訴訟法」では再審の規定は一九条しかなく、その原型は一〇〇年前の旧刑事訴訟法の中にあり、戦後もそのまま、引き継がれ、一度も改正されていないという。

この日、高知県四万十市の田中全さんは「今、『坂本清馬』の映画製作を企画中」と語り、監督さんと参加。

昨年、「大逆事件全国サミット」を一五〇人の参加で成功させた神戸から「来年、開催予定の岡山県井原市の『サミット』成功にしっかりと応援したい」の報告。「管

野須賀子を顕彰し、名誉回復を求める会」の上山慧さん、「大逆事件の真実を明らかにする会」から山泉進事務局長のお話と「大逆事件」が多面的に語られ、「森近運平の顕彰、名誉回復」へ、刺激的な集いとなりました。

「大逆事件」は「もの言えぬ暗黒と戦争の治安維持法体制」へ突き進む契機となりました。

黒と戦争の治安維持法体制へ突き進む契機となりました。



4月

事務局日誌

10日 県本部常任理事会
12日 「不屈」発送作業

岡山支部役員会
美作支部役員会
岡山市南区藤田

13日 岡山市南区藤田 「田園カフェ」

15日 「不屈」美作版発行

23日 女性部会議

27日 「倉敷民商弾圧事件」

5月1日 県メーデー集会 全国連絡会総会

女性部
だより

活発な女性部活動でさらに広がり

女性部 中村和子

女性部は今年の総会で「いつてもどこでも黄色い署名」を合言葉に署名に取り組むこと。第二に「女性部の担い手を増やすこと」を決めました。一昨年から「伊藤千代子」上映会での拡大、昨年の中国ブロック交流会に参加された方、今年の女性部総会に参加された方も入会しました。今、女性部

は山本鶴男さんの自伝手記「彼岸花」を読み合わせしています。「戦争と弾圧」が真正面から迫ってくる一九三〇年代。命がけで闘う姿は「戦争の足音」が大きくなる。今、同じ現場を感じます。「戦争の準備」でなく「平和のとりくみを」。治安維持法犠牲者の志しを受けつぎます。

戦場の写真



備南支部 谷口洋子

先月、実家の総片付けをした。木製のタンス以外に私の本、集めた陶器もほとんど業者が運び出し捨てた。そこにふっと目に着いた古い写真が二枚。

一九四〇年代に中国の戦場で撮られたもの。私の友人の父親が戦場で撮った写真。拡大しているの少しぼやけている。

二〇数年前、その友人は写真を見つけ、「赤旗」記者が取材に来て、記事と写真は記載され、その後、私が譲りうけた。

「私たちの食糧はどうなるの」

県本部副会長 坪井貞夫

四月一三日、「田園カフェ」で私は「私たちの食糧はどうなるの」のテーマでお話しをさせていただきました。

日本の食糧自給率は先進国最低の38%。日本人の食べ物は60%を超えて外国産です。今、世界は戦争と気候変動、格差と貧困、自然資源の枯渇、原種の淘汰、

後ろ手に縛られた中国人男性が

数人。立ったままで日本兵数人に銃剣で刺殺される瞬間の写真である。周囲を数百人の日本兵が取り囲んでみている。「こうやって殺すのだ。よく見ていけ」ということなのか。人を殺す戦場教育なのか。しかも写真を撮るということ

は現場の指揮者はそれを命じ、許したのか。戦争、戦場でいかに人間らしい感情が奪われ、失っていったのか。私は慄然とした。今の私たちはもっともっと想像力を鍛えねばならない。

遺伝子組み換えなど持続可能でない、いつでも簡単に食料が手に入らない状況が生まれています。

国連食糧農業機関は「家族農業」を中心とした政策の実行を訴え、二〇一九年から二〇二八年までを国連家族農業年と定め、公共政策の改善、実施を求めています。

ところが「自公政権」の政府提案には「自給率の向上」はなく、「自給率を確実に上げるのは難しい」という答弁まで出ています。

私はこれまで輸入農産物の実態検査を繰り返し行い、残留農薬やポストハーベスト、陸揚げ農産物の燻蒸倉庫見学を報告し、栄養面も安全面も問題が多いことを訴えてきました。今は「円安」で異常な価格高騰です。

この日は無農薬栽培のお米を発芽玄米に混ぜたおにぎりを食べていただきました。

河井県本部会長に国賠署名用紙、入会申込書を渡して訴えていただきました。

治安維持法下の闘い 白菊の君―荻田アサノ

-4-

検挙・拷問

アサノは特高の目を逃れるため、地下活動に入る。その直前に津山へ帰り、母親に「私はしばらく、外国へいくのでお墓参りをしていくわ。今日はお母さんの横で寝るから」といって「寢床の中で朝までおしゃべりをした」という。そして「私に会いたくなったら、山原先生の所へ行って、私に話すつもりで話して」と、当分会えない母の心を思いやった、アサノの優しさにじみでている。



アサノは一九三三年（昭和八）一月一〇日に検挙され、大塚署に拘留された。そこでの拷問がいかに凄まじいものであったか、アサノの口からは到底、語るこのできないものだった。そんな中でアサノは六ヶ月を、黙秘で通した。しかし、同じころ、資金局のメンバーのほぼ全員が検挙された。他の同志の口から、彼女の入党、部署、会合の内容が明らかにされた

ために、活動の内容を認めた。さらに野蛮な暴力のもとで、心ならずも革命運動の放棄を口にさせられた。アサノにとって衝撃的だったのは、純粋な気もちで党活動に参加し、一生を捧げる覚悟で、親から出してもらった結婚費用（現在のお金で四〇〇〇万円近い）を党のためにと提供したのに、

党に潜入したスパイや腐敗分子に個人的に流用されていたことがわかったことだった。アサノはそれに対する怒りと失望感にさいなまれ続けた。

同年、治安維持法違反で起訴され、市ヶ谷刑務所に未決収監。そして翌年九月に保釈出獄するまで、一年九ヶ月の間、獄中での厳しい闘いと生活を、持ち前の冷静さをもって、隠することなく過ごしたアサノであった。

獄中での母の愛

母、幾さんは毎月、上京し、上野の旅館を定宿にし、一週間滞在し、毎日、アサノの面会にいった。



荻田アサノの生家

た。面会に行く以外は用がないので、朝から山原先生宅に行った。幾さんが上京する時期は決まっていた。それは娘が生理になる頃で

あり、娘の下着を洗濯するのが「私の務めだ」といい、山原先生の風呂場を借りて洗濯をした。アサノにロシア語を教えていた湯浅芳子も山原先生の所へきて、「アサノさんを放っておくことはできない。何か援助できることはないか」と、獄中のアサノを心配して、相談をもちかけた。市ヶ谷刑務所にいたころ、父の善作はなくなっていたが、葬儀に出ることは許されなかった。

【中島もりあき】（次回へ続く）

— 計 報 —

岡山の労農救援会の創始者、エスペラントの先駆者、

岡一太（かずた）の長女 岡文女さん 死去 ハニ歳

岡文女さんは一九四二年、中国の天津で生まれ、戦後は瀬戸町で医療生協活動、政治革新の活動に参加していました。

父の一太さんは救援活動、エスペラント活動で特高に追われた治安維持法犠牲者。中国に渡り、戦後も医療生協設立運動に

（県本部 河井伸士）

原作は戦前のプロレタリア文学の偉大な作家。
特高に虐殺された 小林多喜二

原作 小林多喜二 脚本・監督 山村聡

主なキャスト

山村聡 森雅之 日高澄子 中原早苗 河原崎しず江 若原春江
河野秋武 森川信 花沢徳衛 浜村純 平田未喜三

労働問題における日本の代表作

蟹工船

上映会

非人道的労働に
ついに爆発する人間ドラマ



戦前の蟹工船は地獄船と言われ、海のたこ部屋といわれる極度の奴隷労働の世界。消耗品扱いの過酷な非人間的労働。不法、暴力と脅しに堪えかね、ついに立ち上がる。だが、待っていたのは国家による徹底的な圧殺だった。

周旋屋のピンハネ、非人間的労働、モノ扱いされる労働者。現代に通じる「ワーキングプア・格差社会」がここにあった。

時：6月1日（土）

PM1:30～3:30

会場：岡山医療生協
労組 コムコム別館

上映終了後

「蟹工船」をエスプレ
ントに読みなおしてー。

ーお話しー

島津泰子さん（瀬戸内市在住）